

【6条別表7】在職年数と修得単位で特別支援学校教諭専修・一種・二種免許状を取得

○奈良県で申請手続ができるのは、奈良県内の学校に勤務する現職教員もしくは現職教員以外の奈良県在住者です

番号	書類の名称(様式)	様式	備 考	確認欄
1	教育職員免許状 検定願	第5号様式	・免許状1枚につき1通必要 ・手数料として免許状1枚につき5,000円分の「奈良県収入証紙」を貼付する	
2	履歴書	第2号様式	・現職教員(認定こども園を含む)として学校で勤務している場合は所属長の証明(公印)をもらう	
3	宣誓書	第3号様式	・本人直筆の署名、押印 ・現職教員で実務に関する証明書を提出する場合は省略可	
4	実務に関する証明書 【厳封】	第4号様式	・所属長と実務等証明責任者の両方の証明をもらうこと ※奈良県の県立学校の教員は学校長の証明を必要としない ※複数の市町村での勤務がある場合は、実務等証明責任者ごとの証明が必要 ☆実務等証明責任者は下表の通り ☆免許申請に必要な年数分の証明があれば良いが見込みは不可	
5	人物に関する証明書 【厳封】	第7号様式	・現任校または最終勤務校で、所属長と実務等証明責任者の両方の証明(6ヶ月以内)をもらうこと ※奈良県の県立学校の教員と現に教員でないものは、学校(園)長の証明を必要としない ☆実務等証明責任者は下表の通り	
6	身体に関する証明書	第8号様式	※第8号様式をプリントアウトし、医師の証明を受ける	
7	学力に関する証明書 【本人開封無効】	—	・申請する免許状に係る単位を修得した大学等で発行 ・認定講習で単位を修得した場合は単位修得証明書 ・申請する校種、教科ごとに必要 ※「成績証明書」とは異なる	
8	基礎免許状の写し	—	・申請免許状に係る基礎免許状の写し(表裏) ※免許状原本紛失の場合は、免許状授与証明書(原本)	
9	所有免許状の写し	—	・所有するすべての免許状の写し(表裏)または更新講習修了確認証明書の写し(所有する全ての免許状が記載されている場合) ※免許状原本紛失の場合は、所有する全ての免許状授与証明書(原本)	
10	返信用封筒	—	・免許状返送用(簡易書留)として530円分の切手を貼付した角形2号の封筒 ・宛先記載(「行」ではなく「様」と記載) ・クリアファイル(折り曲げ防止のため1枚添付) ・レターパックでは損害賠償は行われないため不可	

以下の書類は必要に応じて提出

11	修得単位一覧表	第9号様式	・奈良県教育委員会が実施する認定講習で単位を修得した場合に必要 ・証明書に複数の免許状取得のための単位が記載されている場合、はじめの申請に使う時はコピー可	
12	教科に関する証明書 【厳封】	第10号様式	・基礎免許状が中学校・高等学校の場合のみ必要 ・勤務期間など、第4号様式と内容を一致させる	
13	本籍地・氏名の変更 の事実がわかる公的 証明書	—	・過去に授与された免許状、基礎となる資格に関する証明書、学力に関する証明書等に記載された氏名、本籍地から変更がある場合は、現在に至る変更の内容が確認できる6ヶ月以内に取得した公的書類(戸籍抄本等)が必要 ※氏名及び本籍地に複数回変更のある場合は、現在に至る変更の内容が確認できる書類、(改製原戸籍や以前の本籍地で発行される除籍の抄本等)が必要 ※更新講習修了確認証明書に現在の本籍地、氏名が記載されている場合はその写しの添付でよい	

☆実務等証明責任者は下表所属別の通り。公印での証明が必要

在籍所属	国立学校の 附属校	県立学校 (奈良県)	県立学校 (奈良県以外)	・市町村立幼稚園 ・市町村立小中学校 ・市町村立義務教育学校	・市町村立こども園 ・市町村立保育園	法人	大学生	民間企業
証明者	大学の学長	学校長	都道府県 教育委員会	市町村教育委員会	所管課長	理事長	学長もしくは 学部長	代表取締役等の 代表者

※申請時、上記いずれにも所属していない者については、直近に所属していた実務等証明責任者の証明をもらう

【申請書類の郵送先】

〒630-8502 奈良市登大路町30

奈良県教育委員会事務局教職員課 キャリア支援係

記入例		5,000円分の奈良県収入証紙を貼付	
奈良県収入証紙をはってください。			

教育職員検定願

免許状の種類 **小学校** 教諭 **二種** 免許状
教科

上記の教育職員免許状を教育職員検定により授与してほしいので、別紙の関係書類を添えてお願いします。

令和〇年4月13日

日付はすべて元号表記

奈良県教育委員会 殿

ふりがな
氏名

なら たろう
奈良 太郎

生年月日

平成12年7月14日生

現住所

〒634-1234
奈良市若草町1丁目23番地

現職教員の場合のみ記入

勤務校

奈良市立まほろば中学校

TEL 090-1234-5678

本籍地(府県名のみ)

大阪府

日中連絡が取れる連絡先

(以下は記入しないでください。)

都道府県名のみ記入

基礎となる資格又は免許状 及び同取得年月日	在職年数等 年 月 日	修得単位数		単位修得機関
		現在 年以上 教員		
年 月 日取得				
勤務校及び職名	備考			
授与年月日	免許状の番号			
				第 号

第2号様式

記入例

履歴書

氏名 生年月日	奈良 太郎 平成5年 10月 10日生						
所有する免許状	教科	免許状の番号	取得年月日	所有する免許状	教科	免許状の番号	取得年月日
小学校一種		平〇小一種第123号	H23.3.25	高等学校一種	保健体育	平〇高一種第345号	H23.3.25
中学校一種	保健体育	平〇中一種第234号	H23.3.25				

学歴 (高等学校入学から記入してください)

H21年	4月	1日	奈良県立まほろば高等学校入学	入学日、卒業日が不明の場合は入学を4月1日、卒業を3月31日と記入。	日
H24年	3月	31日	奈良県立まほろば高等学校卒業		
H24年	4月	1日	若草大学入学	年 月	辞令をもとに記入。 教員免許を使っての職以外の場合は空欄で可。
H28年	3月	31日	若草大学卒業	年 月	
年	月	日	職歴		発令者
H28	4	1	株式会社〇〇入社		
H29	3	10	株式会社〇〇退職(一身上の都合)		
H29	5	20	奈良市立まほろば中学校 非常勤講師		奈良市教育委員会
H30	3	30	退職(任期満了)		奈良市教育委員会
H30	4	1	奈良市立若草小学校 教諭		奈良県教育委員会
			現在に至る		
				書き切れない場合は履歴書が複数枚になっても可。	

上記のとおり相違ありません。

令和〇年 11月 11日

氏名 奈良 太郎

公印

上記履歴事項について相違ないことを確認します。

令和〇年 11月 12日

学校長 奈良市立若草小学校長 大和 花子 印

(現に教育職員でない者は、この確認を必要としません。)

(注) 職歴については、就職、転任、休職（その理由）、退職（その理由）等の事項を記入してください。（給与に関しては、記入する必要はありません。）

第3号様式

記入例

3号「宣誓書」については入力ではなくプリント
アウトし、自署・押印をお願いします。

宣 誓 書

私は、次の各号の一に該当する者でないことを宣誓します。

- 拘禁刑以上の刑に処せられた者
- 免許状がその効力を失い、当該失効の日から3年を経過しない者
- 免許状取上げの処分を受け、当該処分の日から3年を経過しない者
- 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他
の団体を結成し、又はこれに加入した者

令和〇年 2月 22日

奈良県教育委員会 殿

氏名

申請者自署・印

印

第4号様式

記入例		実務に関する証明書		
勤務校	奈良市立若草小学校		現在の勤務校。現在勤務していない場合は現住所を記入	
氏名	奈良 太郎		生年月日	H 2・7・7 生
勤務校名		勤務期間		職名
奈良市立まほろば中学校		R1.4.1 ~ R2.5.31		常勤講師 保健体育
奈良市立まほろば中学校		R2.7.1 ~ R4.3.31		常勤講師 保健体育
奈良市立若草小学校		R4.4.1 ~ 証明日現在在職中		教諭
<p>○基礎となる免許状を用いて良好な成績で勤務した期間を記入 (●年●月●日まで記入すること)</p> <p>○経験年数には次の期間は含まない</p> <ul style="list-style-type: none">・休職期間、引き続き90日以上の病気休暇（介護休暇、産前産後休暇を含む）、育児休業の期間・勤務が良好と認められない期間				
<p>○全ての勤務期間の証明は必要ありませんが、申請に必要な年数を満たす勤務期間の証明が必要です。</p> <p>○複数の市町村での勤務がある場合は、実務等証明責任者ごとに証明書が必要です。</p> <p>○教育職員免許法上の教員としての勤務期間を証明してください。 (市長村長による任用の指導員・支援員等は教育職員免許法上の教員ではありません。)</p>				
勤務に関する概評	当該期間を良好な成績で勤務した根拠となる所見を記入（文書表記で3行程度）			
上記のとおり相違ありません。				
令和〇年 11 月 11 日			奈良県内の県立学校での実務経験を証明する場合は不要	
学校長 奈良市立若草小学校長 大和 花子 印				
上記とおり勤務したことを証明します。				
令和〇年 11 月 12 日			印	
実務等証明責任者 奈良市教育委員会			印	

- (注) 1 実務等証明責任者とは、大学附置の国立学校の教員にあってはその大学の学長、県立学校の教員にあっては県教育委員会、市町村立学校の教員にあってはその市町村教育委員会、私立学校の教員にあってはその理事長をいいます。
- 2 この証明書は、親展文書とします。

記入例

人物に関する証明書

勤務校 **奈良市立まほろば中学校**

氏名 **奈良 太郎**

現に教育職員でない者は、勤務校名の欄に

現住所を記入

昭和50年 1月 11日 生

上記の者は教育職員として適当な人物であることを証明します。

令和〇年 11月 11日

公印 印

学校（園）長 **奈良市立まほろば中学校長 大和 花子**

奈良県立学校の教員又は現に教員でない者

は、学校（園）長の証明は不要。

上記のとおり証明します。

令和〇年 11月 12日

公印 印

実務等証明責任者 **奈良市教育委員会**

- (注) 1 実務等証明責任者とは、大学附置の国立学校（学校教育法第2条第2項に規定する国立学校をいう。）の教員にあってはその大学の学長、奈良県立学校の教員にあってはその学校長、市町村立学校の教員にあってはその市町村教育委員会、私立学校の教員にあってはその理事長、奈良県以外の都道府県立学校の教員にあってはその都道府県教育委員会をいいます。
- 2 奈良県立学校の教員又は現に教員でない者は、学校（園）長の証明を不要とし実務等証明責任者の証明のみで可とします。
- 3 現に教育職員でない者は、勤務校名の欄に現住所を記入してください。
- 4 この証明書は、親展文書とします。

身体に関する証明書

現住所			
氏名		生年月日	・ 　・ 　生

疾病異常

あり　　具体的内容

・

なし

特記事項

上記のとおり相違ありません。

年　月　日

医院所在地及び医院名

医師氏名

印

- (注) • 「疾病異常」欄は教員としての勤務に支障がないと思われる場合は、
「なし」に○で囲むこと。
• 「特記事項」欄は、上記「疾病異常」が「あり」の場合、教育職員
として職務遂行の可否について、医師の所見を記入。

記入例

修得単位一覧表

令和〇年 12月 23日現在

ふりがな 氏名	なら たろう 奈良 太郎	ふりがな 旧姓	※ わかくさ 若草
生年月日 (元号)	S45年 2月 26日		
	開設科目名	単位修得年月日	修得単位数
1	発達障害教育・重複障害教育基礎論	R3・11・1	1
2	特別支援教育基礎論	R4・11・1	1
3		・	
4		・	
5		・	
6		・	
7		・	
8		・	
9		・	
10		・	

備考 奈良県教育委員会免許法認定講習で修得した単位のみ記入してください。

※証明書に記載された氏名から変更がある場合は「旧姓」を記入

教科に関する証明書

記入例

氏名

奈良 太郎

生年月日

H5・8・8 生

勤務校

奈良市立まほろば中学校

現在の勤務校。現在勤務していない場合は現住所を記入

実務に関する証明書の勤務期間と一致させる

教科名

保健体育

所有する免許を使用して教科担当した年数を記入

担任の年数

3年0月

教科の担任経歴

期間

年数

学校名

担任学年

R1.4.1～
R4.3.31

3年0月

奈良市立まほろば中学校
期間内に教科を担当した学年を全て記入

1～3年

教科の研修経歴

年月日

名称

主催機関

研究会等での研修経歴があれば記入。ない場合は空欄で可。

上記のとおり、教科について成績良好であることを証明します。

令和4年 11月 12日

公印

学校長 奈良市立まほろば中学校長 大和 花子

印

(注) この証明書は、親展文書とします。

奈良県収入証紙をはってください。

教育職員検定願

免許状の種類
教科

教諭

免許状

上記の教育職員免許状を教育職員検定により授与してほしいので、別紙の関係書類を添えてお願いします。

年 月 日

奈良県教育委員会 殿

ふりがな
氏名

生年月日 年 月 日 生

現住所

勤務校
本籍地 (府県名のみ)

T E L

(以下は記入しないでください。)

基礎となる資格又は免許状 及び同取得年月日	在職年数等	修得単位数	単位修得機関
	年 月 日 現在 年以上		
年 月 日 取得	教員		
勤務校及び職名	備考		
授与年月日	免許状の番号		
			第 号

第2号様式

履歴書							
氏名 生年月日	年月日生						
所有する免許状	教科	免許状の番号	取得年月日	所有する免許状	教科	免許状の番号	取得年月日
学歴（高等学校入学から記入してください。）							
年	月	日		年	月	日	
年	月	日		年	月	日	
年	月	日		年	月	日	
年	月	日		年	月	日	
年	月	日	職歴				発令者
上記のとおり相違ありません。							
年月日				氏名			
上記履歴事項について相違ないことを確認します。							
年月日				学校長	印		
(現に教育職員でない者は、この確認を必要としません。)							

(注) 職歴については、就職、転任、休職（その理由）、退職（その理由）等の事項を記入してください。（給与に関しては、記入する必要はありません。）

宣誓書

私は、次の各号の一に該当する者でないことを宣誓します。

1. 拘禁刑以上の刑に処せられた者
2. 免許状がその効力を失い、当該失効の日から3年を経過しない者
3. 免許状取上げの処分を受け、当該処分の日から3年を経過しない者
4. 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入了した者

年 月 日

奈良県教育委員会 殿

氏名

印

実務に関する証明書

勤務校			
氏名		生年月日	・・・生

勤務校名	勤務期間	職名	担当教科
	～		
	～		
	～		
	～		
	～		
	～		
	～		

勤務に 関する 概評			
上記のとおり相違ありません。			
年 月 日	学校長	印	

上記とおり勤務したことを証明します。

年 月 日

実務等証明責任者

印

(注) 1 実務等証明責任者とは、大学附置の国立学校(学校教育法第2条第2項に規定する国立学校をいう。)の教員にあってはその大学の学長、県立学校の教員にあっては県教育委員会、市町村立学校の教員にあってはその市町村教育委員会、私立学校の教員にあってはその理事長をいいいます。

2 この証明書は、親展文書とします。

人物に関する証明書

勤務校

氏名

年月日生

上記の者は教育職員として適當な人物であることを証明します。

年月日

学校（園）長

印

上記のとおり証明します。

年月日

実務等証明責任者

印

(注) 1 実務等証明責任者とは、大学附置の国立学校（学校教育法第2条第2項に規定する国立学校をいう。）の教員にあってはその大学の学長、奈良県立学校の教員にあってはその校長、市町村立学校の教員にあってはその市町村教育委員会、私立学校の教員にあってはその理事長、奈良県以外の都道府県立学校の教員にあってはその都道府県教育委員会をいいます。

- 2 奈良県立学校の教員又は現に教員でない者は、学校（園）長の証明を不要とし実務等証明責任者の証明のみで可とします。
- 3 現に教育職員でない者は、勤務校名の欄に現住所を記入してください。
- 4 この証明書は、親展文書とします。

身体に関する証明書

現住所			
氏名		生年月日	・・・生

疾病異常

あり

〔具体的な内容〕

・

なし

特記事項

上記のとおり相違ありません。

年 月 日

医院所在地及び医院名

医師 氏名

印

(注)・「疾病異常」欄は教員としての勤務に支障がないと思われる場合は、「なし」を○で囲むこと。
・「特記事項」欄は、上記「疾病異常」が「あり」の場合、教育職員として職務遂行の可否について、医師の所見を記入すること。

修得単位一覧表

年 月 日

ふりがな 氏名		ふりがな 旧姓	※
生年月日 (元号)	年 月 日		
	開設科目名	単位修得年月日	修得単位数
1		・ ・	
2		・ ・	
3		・ ・	
4		・ ・	
5		・ ・	
6		・ ・	
7		・ ・	
8		・ ・	
9		・ ・	
10		・ ・	

備考 奈良県教育委員会免許法認定講習で修得した単位のみ記入してください。

※証明書に記載された氏名から変更がある場合は「旧姓」を記入。

教科に関する証明書

氏名		生年月日	・	・	生
勤務校					

教科名			担任の年数	年月
教科の 担任経歴	期間	年数	学校名	担任学年
教科の 研修経歴	年月日	名称		主催機関

上記のとおり、教科について成績良好であることを証明します。

年 月 日

学校長

印

(注) この証明書は、親展文書とします。